



第 1326 回例会報告

平成25年7月25日(木) 晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

転失気(てんしき)

私は落語が大好きです。子供の頃、ラジオでよく聞いていたせいかもしれません。今でも寝る前、子守唄代わりに聴くことがよくありますが、大抵は最後のオチを聴く前に眠ってしまいます。三代目三遊亭金馬、六代目三遊亭圓生、古今亭志ん生、その息子である古今亭志ん朝等が特に好きですが、そんな落語の中に「転失気(てんしき)」という本当にばかばかしいネタがあります。凡その筋書きは次のとおりです。

ある寺のお和尚さんが医者に診てもらったところ、「てんしきはございますか」と聞かれました。知らないとは言えず、「今のところございません」と答えましたが、『てんしき』のことが気になってしかたがありません。小僧さんに「ご近所で、てんしきを借りて来なさい」と言いつけます。花屋さんは「おつけの実にして食べてしまった」と言うし、雑貨屋さんは「売り切れた」という始末で、借りることができません。困った小僧さんは和尚さんに意味を聞きますが、「私が教えるのは簡単だが、それでは直ぐに忘れてしまいお前の為にならないから、医者に薬をもらいに行った時に聞いてくるように」と言いつけるというお話です。

結局てんしきとは放屁(おなら)のことだと分かるのですが、小僧さんは和尚さんの知ったかぶりをからかおうと、てんしきは杯のことだと嘘を教えた

ために、和尚さんが医者に「てんしきがございましたのでお見せしましょう」と言って恥をかくというお話です。

「今さら聞けない〇〇」という本のタイトルをよく見ますが、「知らない」と正直に言えないこともあるのが人情かもしれません。

今日は職業奉仕委員会の担当例会で会員セミナーをして頂きます。新会員の方には初めて聞く内容かもしれませんし、ベテラン会員にとっても、今さら聞けないことがでるかもしれません。みんなで勉強しましょう。

それではお後がよろしいようで。

■出席報告

| | |
|------|-------|
| 会員数 | 36名 |
| 出席対象 | 34名 |
| 出席者数 | 26名 |
| 出席率 | 76.5% |
| 前回修正 | 88.2% |

■ニコニコBOX

| | |
|-----|----------|
| 22名 | 23,000円 |
| 累計 | 118,000円 |
| 目標額 | 130万円 |
| 達成率 | 9.0% |

■今週のことば

大玉トマトが熟れはじめました。4個赤くなると3個は鳥に食べられ1個しか食べられません。3000円のネットを買うか思案中です

御子柴文夫

セブ西澤工業のペリーとウイナーから、イボ小学校での「諏訪湖RCへの感謝状贈呈の様子」と「PTA総会の様子」が、写真付きのメールで送られてきました。

溝口幸二

■次回のプログラム

8月1日

休会

8月8日

納涼夜間家族例会

8月15日

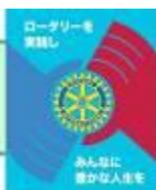
休会

8月22日

第26期決算報告

会員増強について

会長・幹事担当



◇幹事報告◇

【理事会報告】

1. 8月の例会は次の通りです

| | | | |
|-----|------|----------------------|-------|
| 01日 | | 休会(お船祭り) | |
| 08日 | 1327 | 納涼夜間家族例会 | クラブ奉仕 |
| 15日 | | 休会(お盆) | |
| 22日 | 1328 | 第26期決算報告 会員増強について | 会長・幹事 |
| 29日 | 1329 | 元信州大学理学部教授 沖野先生卓話 | 社会奉仕 |

2. 赤羽根会員、武居会員の出席免除が承認されました

3. 第21回インターアクト地区大会に参加した小口青少年奉仕委員長より、参加報告がありました。(詳細はこの後の記事に記載されています)

【連絡事項】

8月のロータリーレートは、100円です

【受領文書】

諏訪RCからウィークリーが届きました

委員会報告

【青少年奉仕委員会】

青少年奉仕委員長 小口直久

インターアクト地区大会について

7月21日の日曜日に、松商学園インターアクトクラブをホストとして、ロータリー2600地区の今年度のインターアクト地区大会が、松本大学にて開催されました。

**大会テーマ： 知ろう！
世界の今！ 私たちの今！**

今回は、私が諏訪湖ロータリーを代表いたしまして、一日参加してきました。

開会式後、信州大学人文学部の花崎先生より、「英語らしい英語とは：英語から考える多様性」と



いう題目の講演を拝聴いたしました。英語の歴史・文法・日本語と英語の考え方、表現方法の違いなど、非常に面白おかしく、お話いただきました。主体が高校生ということで、講演の内容もそれに沿った形でありましたが、大人の私でも非常にためになり、楽しめました。

昼食後、6会場に分かれて講師を招き、生徒たちを中心に各テーマに沿って分科会が開催されました。私は「ユニバーサルデザインについて知ろう」という分科会に参加し、生徒たちと一緒に勉強させて頂きました。ちなみに、ユニバーサルデザインとは“文化・言語・国籍・老若男女の差異・障害・能力に関わらず利用することができる施設、製品”のことを言います。

その後、全体会議ということで、分科会の報告、インターアクトクラブの活動内容の報告等が、各クラブの生徒たちより発表されました。各インターアクトクラブの活動が非常によくわかり、各クラブの個性を実感できる大切な会議の場となりました。

最後に・・・高校生の頃より率先してボランティアにかかわる生徒たちの姿勢に感動しました。私たちロータリアンも、彼らに積極的に関わり、サポートしていくことで、子供たちの未来も明るく豊かなものとなることを、改めて考えさせられた一日となりました。

また機会があれば、参加し、大いに生徒たちとの交流を楽しみたいと思います。

下諏訪中学校区
学校支援地域本部について

下諏訪中学校より依頼があり、2013年4月より諏訪湖ロータリークラブの代表で、下諏訪中学校区学校支援地域副本部長として、参加しております。

現在、9月16日に行われる講演会の企画運営等の事業に携わっております。職業体験の場提供など、諏訪湖ロータリーも深くかかわっていかねらと思います。



【社会奉仕委員会】

社会奉仕委員長 萩田均

諏訪湖清掃

多くの参加ありがとうございました

7月28日(日)早朝6時45分からの諏訪湖清掃に、平山会長を先頭に多くの会員の参加、ありがとうございました。

今回は湖浄連の諏訪湖清掃に参加するなかで、私たちのアダプトプログラム場所の清掃活動をしました。ゴミは少なく、総量で40リットルのごみ袋がいっぱいという量でした。少ないとはいえ何もしなければどうになってしまうか、と思いました。

早朝の新鮮な空気を吸いながら、みなさんといろいろな話ができることが私として、最大の収穫でした。また、1km くらいの散歩ができたことも収穫でした。

次回の清掃予定は8月11日(日)湖浄連の第32回諏訪湖クリーン祭、参加の中での清掃活動をお願いします。



【国際奉仕委員会】

国際奉仕委員長 西澤賢二

支援するセブ島のラプラプ市のイボ区長とイボ小学校長プルタルコ・デゴラシオン氏から、諏訪湖 RC に感謝状が贈られました。その様子を伝えたメールと写真が届きましたので報告します。

(写真はホームページにも記載されています。)

To the ROTARY CLUB OF SUWAKO JAPAN,
Good morning everyone. On July 20, 2013 during the General PTA Meeting of Ibo Elementary School, the Principal, Mr.Plutarco Degollacion with the Barangay Captain of Ibo, Lapu-lapu City awarded The Rotary Club of Suwako Japan this Certificate of Appreciation. This certificate is given to the club for significant contribution and support for their school. In behalf of the Rotary Club Winnah and I received the Certificate. Thank you very much for all your support to our countrymen. We wish you all good health and more power. Best regards, Perry and Winnah

おはようございます。2013年7月20日、イボ小学校PTAの定例総会において、ラプラプ市のイボ区長とイボ小学校長プルタルコ・デゴラシオン氏から、諏訪湖ロータリークラブの支援(学校への援助と意義深い功績)に対して感謝状を頂きました。

ロータリークラブに代わり、私(ウィナ)とペリーが感謝状をいただきました。

私たちの地域への皆様のご援助を感謝しております。ご健康ご活躍を祈念いたします。

敬具

ウィナ&ペリー

現地でいつもお手伝いをしていただいている西澤会員の現地会社の従業員の方からのメールです



第 1326 回例会

職業奉仕委員会

会員セミナー

“ロータリーの職業奉仕理念と

日本の商業道德”

三村昌暉会員卓話

RIは、かつて職業奉仕を奉仕部門から削除しようとした事がありました。日本のロータリアンが猛反発し削除されずに済んだと聞いています。

日本のロータリアンは職業奉仕こそがロータリーの根幹と誰もが受け止めています。世界との差は、いったいなぜでしょうか。私は、日本人の道德観、とりわけ日本の商業道德が関係しているのではないかと思います。



昭和44年に帰郷し、親父の経営する店に店員として入社いたしました。上諏訪駅前商店街華やかなりし頃で、各店には多数の店員さんが勤めていました。商工会議所が主催し、商店に働く人々を対象にした商業セミナーが盛んでした。「長髪はいけない、ポマードを付けてはいけない、お客より良い車に乗ってはいけない」等、今思えば陳腐なものもありましたが、商業道德を守ることの大切さを教えるものでした。

お客様の利益を第一に考えよ。道德心を持って誠実さや信義に基づき、不正競争や虚偽誇大広告、粗製乱造、暴利等をいましめ、信用を高めよ。といった教えでありました。

最近、ネットなどで見ると、日本人の民度の高さ

を評価する投稿が良く見られます。特に物を購入する場合の信頼性は高いもので、日本での買い物は、品物も価格も安心して買えると、海外の評価は高いのです。他国に比べ日本の商業道德はどのように培われたものでしょうか。

司馬遼太郎は、以下のように著書に書き表しています。

『日本における商人の倫理(道德)というのは、商業經濟が発展した室町時代に形成され、それが完成したのが江戸時代である。

そして、その道德倫理の原型は、鎌倉時代の坂東武者の精神と言われている。

「いざ鎌倉」と呼ばれた当時の武士の精神は、信用でもって支えられていた。

今日なお、日本人の心に根強く残っている武士の心は、日本人の形成に大きな役割を果たしたであろう。商売における信用もまた、それが原型となっている。つまり、日本の商売の精神は、近世に武士道の成立と並行して発展していった。』

さて、テレビの水戸黄門に良く出てくる、悪代官は存在し、悪徳商人との結びつきは有ったのでしょうか。

悪代官＝非情な支配者で、しいたげられる農民や町人。しかし、実際にはどうやら現代の印象と実在した代官には、そうとうな開きがあるようです

江戸時代の代官というのは、勘定奉行の支配下で、地方の天領などで年貢の徴収や知行地の石高管理のなどのお役目をいただいた武士でした。相当な権限が付与されたけれど、真面目で貧しい武士でした。金んきらの着物を着て、料亭で「越後や、お主も悪よのお」「いえいえ、お代官様ほどでは・・・」などということがあったのでしょうか。当時の代官の身分は150俵(現在ならば年収500万円位)と最下層の旗本が任命されていました。その中から、1～3人を雇ますから、経済的にはかなり苦しい。つまり、代官は、貧しい武家であり、テレビの時代劇のようなイメージの身分ではなかったのです。

年貢は代官所で、舂で米を計って米を収めます。このとき、舂からこぼれた米は、農民が持ち帰って

良いことになっていました。この“こぼれたお米”が「おめこぼし」で、おめこぼしが多くても文句を言わない代官が“良いお代官”です。おめこぼしを認めないでかつちり年貢を徴収するお代官は、悪代官と陰口をたたかれました。職務にまじめすぎたお代官が“悪代官”とされたようです。どちらにせよ代官は職務に忠実に取り組んでいたのです。

代官に人望がなければ、公共事業に農民の協力は得られないし、賄賂をもらった噂を立てば、民との間に信頼関係は築けません。

武家の教えというのは、私利私欲を厳しく戒め、質素を心がけること、公共性を重視する自己犠牲の精神のうえに成り立っていたのです。

また信用のない悪徳商人が世間の支持を受け発展するはずがありません。

中国の最初の王朝といわれる殷王朝は、物を売ることを商売、売る人を商人と呼びました。中国では、この時代に、物を右から左に移すことで利益が出ることを知りました。3, 500年もの昔の事です。まだ商人倫理などは成立しておらず、その後も、基本的に商人は軽蔑の対象として捉えられていたようです。つまり、物を作らずに交換で利益のみをかつさらう盗っ人みたいな扱いでありました。そういった考えが、商人＝悪徳というイメージで捉えられていたらまことに残念です。どういった人達が作ったイメージでしょうか。

どちらにせよ、代官も商人もそれぞれ信用を重んじ、庶民の支持を得るために、誠実に仕事に取り組んでいたのです。

2010年手続要覧 第7章 職業奉仕

『職業奉仕に関する声明』

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものである。

あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、

同僚への誠実さ、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な取り扱いも含まれる。

自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。

自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリー・クラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、合わせてクラブ・プロジェクトに応えることである。

(ロータリー章典 8.030.1.)

『ロータリアンの職業宣言』

1989年規定審議会は次の職業宣言を採択した。

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私には以下のごとく行動することが求められている。

職業は奉仕の一つの機会であると考えること。

職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳基準に対し、名実ともに忠実であること。

職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。

雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公正であること。

社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すこと。

自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めること。

広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。

事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

(89-148、ローター-章典 8.030.2.)

2004年規定審議会は、この宣言をさらに支持するため、すべてのロータリアンが、事業と専門職の倫理に対するロータリーの献身を体現するような生き方を引き続き助長し、また 21 世紀を迎え、奉仕の 2 世紀目に移行するにあたり、ロータリー・クラブが、高度な道徳的水準を実践している人を惹きつけ、探し出してきたこれまでの優れた実績を土台に発展していくという決議案を採択した。

(04-290)

『四つのテスト』

言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

行為と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

諏訪湖クリーン祭りに参加しました

8月11日、午前6時45分集合で、諏訪湖浄化推進連絡協議会主催の「諏訪湖クリーン祭り」に参加してきました。

言い古されたことですが、このクリーン祭りが初めて開催されたころに比べて、諏訪湖の外観は本当にきれいになりました。会員一同気を引き締めて諏訪湖浄化に向けて頑張りたいものです。

